

I 事業計画

基本方針

当財団は、「各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する」ことを目的として、次の事業を実施する。

また、公益財団法人として公益目的事業を引き続き遂行するとともに、収支の均衡した健全で責任ある経営に努めるものとする。

平成31年度は、県民の自主的・個性的な文化活動の支援奨励とともに、文化芸術の担い手の育成、様々な芸術公演に接する機会を提供するほか、県民の文化活動の拠点である「茨城県立県民文化センター」の管理運営、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ海の総合ミュージアムである「アクアワールド茨城県大洗水族館」の運営を行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。

1 文化振興事業

(1) 文化振興推進事業

文化芸術活動への助成事業に加え、新進演奏家の育成・支援等をとおして、個性豊かな本県文化形成を推進するとともに、質の高い海外の舞台芸術「オペラ」の上演や、児童・生徒を対象とした文化芸術に触れる文化芸術体験出前講座などの県受託事業を実施する。

(2) 茨城県立県民文化センター指定管理事業

第3期指定管理期間（2016年4月1日から2021年3月31日までの5年間）の4年目として、県民の要望に沿った多種多様なジャンルの舞台公演に接する機会の提供と施設の適切な管理運営を引き続き行っていく。

2 水族館事業

アクアワールド茨城県大洗水族館

総入場者年間120万人を目指すため、新たな動物やスマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」、キャッシュレス化に対応した入場券販売等システムの導入を図るとともに、入場料金の改定を行い、子ども及び年間パスポート料金を引き下げることで、リピーターの確保を推進し、安定経営・収支均衡に努めていく。

<財団全体の施設年間利用者目標数>

約177万人

┌	茨城県立県民文化センター利用者数57.1万人
	アクアワールド茨城県大洗水族館総入場者数120万人

事業別計画

1 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成

文化活動を行う団体等に対して事業費の一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励する。

事 項	内 容
助成件数	55 事業
助成予定額	16,553 千円

イ 参加創造事業（6 事業）

ロンドン交響楽団やBBC交響楽団等のトップ奏者で編成された「セプトゥーラ金管アンサンブル」を招聘し県内高等学校吹奏楽部2団体との共演・交流をとおして、音楽の魅力や楽しさを広く伝え、本県の文化水準の向上に推進する。

また、「第45回茨城県新人演奏会」を開催し、若手演奏家に発表の機会を提供するとともに、有望な演奏家を発掘する。

そのほか、新進演奏家支援・育成事業として「ワンコインコンサート」を改め、新たに「サロンコンサート」を開催し、若手演奏家への演奏機会の確保と更なる支援・育成に努める。

月 日	公演名	会 場
6月16日（日）	地域音楽活性化事業 プラスフェスティバル2019 「セプトゥーラ」金管アンサンブル	大ホール
8月4日（日）	新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」	小ホール
9月29日（日）	第45回茨城県新人演奏会	大ホール
11月23日（土）	新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会受賞者コンサート」	常陽藝文センター
2月9日（日）	新進演奏家支援・育成事業 「ミュージックカフェ Vol.5」	小ホール
7月～11月	新進演奏家支援・育成事業 「サロンコンサート」（3回）	グリル 「モンマルシェ」
計 6 事業		

※会場は県民文化センター

ウ 受託事業（3 事業）

本格的で質の高い海外の舞台芸術に接する機会を提供するため、「トリエステ・ベルディ歌劇場」によるオペラ「椿姫」を上演する。

また、新人演奏会出身等の演奏家とプロの管弦楽団メンバーで楽団を編成し、クラシック音楽の魅力を伝えるコンサートを開催し、演奏家の支援・育成に努める。

このほか、文化芸術体験出前講座として、県内の児童・生徒を対象に行う音楽・美術・伝統文化の講座や、トップクラスの講師陣による「子ども文化芸術大学」を開催し、更なる子どもたちの豊かな感性や創造性の育成に努める。

(受託事業計画)

月 日	事業名	会 場
8月31日(土)	みんなで楽しむオーケストラ	常陸太田市民交流センター
9月1日(日)		ひたちなか市文化会館
10月26日(土)	トリエステ・ベルディ歌劇場「椿姫」	県民文化センター大ホール
通 年	文化芸術体験出前講座 ・音楽/美術/伝統文化(80校) ・子ども文化芸術大学(8校)	県内小中高等学校等
計3事業		

エ 地元演奏家等への支援

県内の演奏家の活動に対し後援を行うとともに、広報やマネジメント等の支援に努める。

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 公演事業(主催公演5事業、共催公演17事業、計22事業)

二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎の襲名を披露する「松竹大歌舞伎」を開催し、日本の優れた伝統芸能の魅力を伝えるとともに、県内の公立文化施設と連携を図った鑑賞ツアーや見どころを解説する鑑賞講座を実施し、新規鑑賞者の開拓とリピーターの確保に努める。

また、松居スーザン:作、スズキコージ:絵による「第19回路傍の石・幼少年文学賞」を受賞した童話作品「はらっぱのお話」を大人から子どもまで楽しめる内容にリメイクした音楽劇の上演をはじめ、ギター国際コンクールで多数の受賞歴を持つ土浦市出身の「木村大」と多彩な実績を残すピアニスト「榊原大」によるデュオコンサートや60種類以上の多彩な楽器やバトンを使って圧巻のパフォーマンスを披露する音楽集団「ブラスト!」、150年以上の歴史を誇る名門歌劇場のバレエ団「キエフ・バレエ」など、多種多様なジャンルの舞台公演に接する機会を提供する。

(公演計画)

	月 日	公演名	会 場
主 催	4月7日(日)	松竹大歌舞伎 二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎襲名披露	大ホール
	4月7日(日)	歌舞伎鑑賞講座	小ホール
	10月26日(土)	オペラ鑑賞講座	小ホール
	12月15日(日)	東京演劇アンサンブル「はらっぱのお話」	大ホール
	3月20日(金)	木村大&榊原大コンサート	小ホール
共 催	6月8日(土)	加山雄三コンサートツアー2019-20 START	大ホール
	6月21日(金)	鈴木雅之 masayuki suzuki taste of martini tour 2019	大ホール
	7月21日(日)	ブラスト!: ミュージック・オブ・ディズニー	大ホール

9月14日(土)	桂雀々独演会	小ホール
9月21日(土)	玉置浩二コンサートツアー2019	大ホール
9月22日(日)	大野俊三コンサート	大ホール
9月23日(月)	ふるさとの詩人「高野公男と船村徹の友情を奏う」	大ホール
10月12日(土)	中村勘九郎・七之助錦秋特別公演(2回)	大ホール
10月13日(日)	それゆけ!アンパンマンミュージカル(2回)	大ホール
10月14日(月)	アリス・コンサート	大ホール
11月16日(土)	井上陽水コンサート	大ホール
12月6日(金)	華麗なるダンス・哀愁の歌声「アルゼンチンタンゴ2019」	小ホール
12月14日(土)	高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト	大ホール
12月21日(土)	キエフ・バレエ「くるみ割り人形」	大ホール
1月~3月	辻井伸行ピアノリサイタル	大ホール
2月2日(日)	ローマ・イタリア管弦楽団「映画音楽名曲集」	大ホール
3月7日(土)	南こうせつコンサート	大ホール
計 22 事業 (主催 5 事業・共催 17 事業)		

※ 会場は県民文化センター

イ 施設の利用促進及びサービスの向上

県民文化センター指定管理者として、県民の文化活動等の場として県民に広く利用されるよう努めるとともに、施設の安全性・快適性を確保する。

県民文化センター利用者数 571 千人、利用料金収入 103,143 千円を目標とする。

(ア) 施設利用計画

事 項	利用者数	利用日数	利用料金収入	利用率
大ホール	255,800 人	264 日	62,530,000 円	84.0%
小ホール	62,900 人	228 日	11,304,000 円	75.0%
本館集会室	85,900 人	305 日	6,179,000 円	96.0%
分館集会室	39,000 人	316 日	11,203,000 円	92.7%
和室	3,670 人	168 日	1,448,000 円	52.6%
一般展示室	61,700 人	259 日	5,797,000 円	82.0%
県民ギャラリー	61,000 人	240 日	4,453,000 円	77.7%
練習室	1,330 人	76 日	229,000 円	22.0%
計	571,300 人	1,856 日	103,143,000 円	72.3%

※ 利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

(イ) 1月限定割引による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、1月限定の施設利用料金割引を継続して実施し、ホームページを中心とした情報発信により当割引について周知する（大ホール・小ホール・和室・一般展示室・県民ギャラリーの施設利用料の50%割引）。

(ウ) 新規利用者（団体等）及びリピーターの確保

催事及び施設の空き状況等の最新情報の更新、利用団体へのダイレクトメールの発送などにより利用促進を図る。

なお、近隣市町村の文化施設等及び関係各団体等へ「催し物ご案内」（情報誌）を配布し、来館者の確保に努める。

(エ) 各団体との連携

関係団体等と連携し、施設の利用促進に努める。

- ・ 茨城文化団体連合など各文化団体等との連携。
- ・ 茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連携による加盟施設館との情報共有と協同による利用の促進。
- ・ 県民文化センター友の会を通じたチケット販売や各種イベント情報提供。
- ・ 茨城県及び水戸観光コンベンション協会等の関係団体との連携による全国規模や地域ブロック規模の大会等の誘致。

(オ) サービスの向上

会場受付及びチケット販売業務の平日の営業時間の延長を継続し、利用者へのサービス向上を図る。

また、利用者と主催者双方を対象とする利用満足度調査（アンケート調査）を随時実施し、利用者の要望等を分析するとともに、改善が可能な案件については速やかな対応に努めるほか、要望及び対応についてホームページに公開する。

(カ) 県民文化センター友の会の運営

現在、約2千人の会員数を擁する県民文化センター友の会は、県民文化センターの各種公演事業を支え、支援していただいております。チケット割引事業をはじめ、観劇会や研修旅行の開催等、サービスの向上と会員の確保に努める。

(キ) スタインウェイを体感しようの開催

県民文化センターが管理するスタインウェイ社製のフルコンサートピアノの有効活用を目的として、希望者に演奏する機会を提供する（年7回）。また、大ホールの空き日に開催することで施設の利用促進を図る。

(実施計画)

開催回	開催日
第29回	4月予定
第30回	5月予定
第31回	8月予定
第32回	12月予定
第33回	1月予定
第34回	2月予定
第35回	3月予定

ウ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備計画

施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ修繕計画を策定し計画的な修繕を実施する。また、危険箇所の早期発見及び事故の未然防止に努め、緊急性の高い修繕箇所については優先的にかつ迅速に修繕を実施する。

また、今年度は来館者の安全確保の観点から大ホール入口床御影石防滑加工や利用者からの要望が多い分館でのWi-Fi環境を整える工事等、利用者の要望を取り入れ利便性及び安全性の向上を目的として、快適で利用しやすい施設づくりに努める。

なお、施設維持・管理に係る基本的考え方は、次のとおりとする。

- a 満足度調査結果を利用者の声としてとらえ、優先して不具合等の解消に努める。
- b 環境への配慮に努め、省エネルギーの推進、ゴミの分別化や削減等に取り組むほか、偕楽園公園に隣接する施設として環境美化に努め、適正管理を行う。
- c 障害者や高齢者など誰もが施設を快適に利用できるよう努める。

(イ) 危機管理対策

東日本大震災で得た教訓を活かし、火災訓練のほか、大規模地震を想定した避難訓練等を実施し利用者の安全確保に努める。また、危機管理対応マニュアルの見直しを常時行うとともに、災害発生時に迅速かつ安全に行動が出来るよう、職員をはじめ委託業者及び分館使用団体職員等関係者への周知を徹底する。

- ・ 避難訓練の実施（年2回実施。火災及び大規模地震を想定）
- ・ 危機管理対応マニュアルの常時見直し
- ・ AED（自動体外式除細動器）の管理及び操作方法習得の徹底
- ・ 火災、Jアラート及び地震発生時の対応のほか、不審者への対応、風水害・傷病等の対応
- ・ 大ホール催事等開催時の緊急事態への迅速な対応をするため、必要に応じて別途警備員を1名以上配置
- ・ 関係各団体との連絡体系の整備

2 収益事業1（県民文化センター自主事業）

（1）グリル事業

文化センターレストラングリル「モンマルシェ」については、文化センター利用者の利便施設として運営を続けてきたが、かねてより懸案であった赤字基調の改善が見込めないことから、2019年12月末までの運営とする。なお、売店については、利便施設として、なお一層のサービスの提供に努める。

（2）駐車場事業

千波公園・県民文化センター前駐車場については、県から管理許可を受け、県民文化センターをはじめ、千波公園や茨城県近代美術館を訪れる皆様がより安全で快適に利用できるよう、適切な管理運営に努める。

・総利用台数 145,600台

3 公益目的事業2（水族館事業）

（1）水族館の運営

水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境をとおして、生物の多様性や自然環境、地球環境について楽しみながら学ぶという、教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営する。

また、水族館が本来持っている[展示][普及][研究]の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして次の機能を持たせた施設として運営する。

ア 「驚き・不思議・発見・楽しさ・やすらぎ」のアミューズメント（娯楽）要素を持った観光レクリエーション施設

イ 地域の文化と経済に貢献する拠点施設

ウ 海を通じた環境教育の場としての生涯学習施設

エ 自然保護と種の保存に関する実践・研究施設

オ 平成31年度入場者計画 総入場者数 1,200,000人

平成31年度は、さらなる飛躍を目指し、入場者の大幅増を図っていく。

そのために、新規生物及びスマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」、キャッシュレス化に対応した入場券販売システム等の導入や磯の生物等に触れ合えるタッチングプールの全面改修など新たな話題提供を図りながら、「大洗水族館の魅力発信」を積極的に行っていく。

入場料金について、消費税率改正を契機に改定を行い、大人料金を引き上げる代わりに子ども料金を引き下げるとともに、年間パスポート料金を2回分に設定して、リピーターへの誘導を図り、集客に繋げていく。

さらに、ホームページやSNSなどインターネット媒体の活用と広告展開する部署を一元化することにより、より戦略的な広報及び情報配信を推進していく。

また、修繕計画に基づく施設整備について、緊急性の高いものから実施するなど資金の有

効な活用を図るとともに安全な施設管理に努め、採算性の視点に立った効率的な予算執行を行う。

これらにより安定的な整備を継続できるよう収支均衡を図り、施設整備資金を確保していく。

(2) 飼育展示事業

基本テーマに基づき生物の収集を行い、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実に努めるとともに、飼育生物や県内外に棲息する水生生物について調査・研究を行い、それらを通して自然環境保護の啓発活動を行うことで、環境保全の基幹施設としての一翼を担う。

ア 魚類展示

飼育生物の飼育・展示・繁殖研究を行い、生物固有の様々な情報を数多く発信することで常に新鮮な話題を来館者に提供する。また、大陸棚2水槽内を小分けに改造し、より多くの深海性生物を展示し誘客促進を図る。

その他の水槽についても展示更新に努め、ミニ企画展や館外イベント展示などを積極的に行い、広報活動と連携させ新規来館者の獲得を図る。

生物収集では、漁業者や水産試験場との連携を強化し、サメ類・クラゲ類・その他の魚類など、幅広い生物相の収集に努めバリエーションあふれた展示を目指す。

また、新たなサメ類、深海性生物の供給地として、高知県室戸市、鹿児島県枕崎市において新規に収集活動を行い、新たな展示生物の開拓に向けて、搬入ルートや蓄養方法を確立する。

調査研究では、県内沿岸に來游するサメ、マンボウ、ウミガメ類の生態調査及び県内に生息する魚類・無脊椎動物の定性調査を行うとともに、県内に生息する生物の多様な生態を解説に加えて展示することで、茨城の自然環境保全について啓発する。

また、各研究機関との共同研究を積極的に行い、サメ類の単為生殖のような生物の未知なる生態を解明して研究施設としての役割を果たしていく。

サメ類の槽内繁殖では、卵生種はもとより胎生種でも繁殖を目指し、さらに、サメ類以外の硬骨魚においても繁殖技術を向上させ繁殖賞を目指す。

イ 海獣展示

鯨類の繁殖については、自然繁殖を優先するが、他園館で成功例が多くなってきている人工授精の試みも取り入れて行く。また、^{ききやく}鯨脚類については、カリフォルニアアシカ2頭の繁殖に成功しているため、血統的な観点から、他館との生体交換等も視野に取り組んで行く。ペンギン、エトピリカについても繁殖個体のブリーディングや生体交換等に積極的に取り組んで行く。

カピバラについては、今年度他園館等への搬出を予定している。

イルカ・アシカオーシャンライブでは、お客様に満足していただけるよう、新しい種目の開発や、映像等を活かした特別感のあるオーシャンライブを展開する。昨年度から実施している「レクチャー型ライブ」はさらなる充実を図りながら継続して行く。

新規事業として、「イルカと泳ごう（仮称）」を夏期期間限定で1日5名、延べ日数

約30日で実施する計画である。また、ペンギン育児室となっている展示スペースの活用を図り、ペンギンの生態解説や、剥製、骨格標本等を展示し、お客様へサービスを提供していく。

新規動物として、カナダカワウソ（雄1，雌1）を4～5月に搬入し、展示することで、愛嬌のある仕草や生態を紹介していく。

保護・調査研究については、関係機関との連携を図りながら、茨城県沿岸へのストレンジング調査活動を引き続き推進する。また、茨城県北家畜保健衛生所の協力により実施している病理検査等共同研究を今年度も継続して実施する。更に、各大学等へもホルモン検査やDNA検査等共同研究の視野を広げ実施していく。

一昨年流行した鳥インフルエンザに関しては、情報収集を密にし、随時的確な消毒処置等の対応ができるよう万全を期していく。

ウ 自然博物館水系展示水槽管理受託事業

ミュージアムパーク茨城県自然博物館から受託した水系展示水槽の適切な管理を行うとともに、展示用生物の収集をはじめ、各種展示解説や企画展での水槽展示、維持管理を行う。

(3) 教育普及事業

生物や環境等について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を展開するため、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で発見体験学習、レクチャー・展示解説等の活動を進める。内容については参加者の声をよく聞きながら常に見直しを図る。

また、機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により自然観察会や講演会等へ講師を派遣するほか、移動教室を実施する。さらに、教育機関からの実習、職場体験学習や各種団体の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行う。

ア 発見体験学習の実施

生き物や自然環境、水族館に対する理解を促すため「自然体験塾」及び「さかなの絵コンクール」を実施する。自然体験塾については、内容の見直しを反映させた新講座として「イソギンチャクの秘密」「ビーチコーミング」などの他、大人向けの講座「マスタースクール」を実施する。

(発見体験学習内容)

名 称	内 容	期 間
(1) 自然体験塾	小学生以上の年齢を対象とした、実験観察室での生き物観察や工作、野外での自然観察会等、生き物や自然に関する講座を27講座、延べ34回実施。また、大人向けのマスターコースでは、生き物の生態や特徴の解説に加え、実際にサメやマンボウの解剖、標本作成などの講座も実施。	通 年
(2) さかなの絵	入館者（小学生）を対象に、展示生物を写生する機	

コンクール	会を提供し作品展と表彰式を開催。写生会は土曜・日曜で延べ4回実施。	10月
-------	-----------------------------------	-----

イ レクチャー及び展示解説の実施

展示生物や自然環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態等に関する解説サービスとして、なるほど魚っちんぐ（お魚発見教室レクチャー）、アクアウォッチング（水中対話解説）、スポットガイド、お食事タイム（給餌解説）及び水族館探検ツアー（バックヤード案内）等の各種プログラムを実施する。

また、解説員の業務管理や指導はもとより、スキルアップを図るため類似施設研修等を実施し、お客様に分かりやすい解説を行い、多くの方に生物の情報とともに、「学べるプログラム」を提供する。

館内混雑特異日には、水族館探検ツアーに代わり、自由参加となる「バックヤードウォーク」を実施し、多くの来館者に参加していただく。

ウ コンピューター情報運用管理

館内の情報端末において、展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関しての情報発信について管理を行う。

コンピューターシステム管理については、安全運用を図る。また、システム端末等において散発的に動作不良等の各種不具合が発生した場合は、迅速にその解消を図るなど、安定した運用に努める。

エ 機関誌『Sea遊』の発行

水生生物等への理解促進とともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため展示生物の興味深い生態やトピックス等、様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館や県内の教育機関及び栃木県の小中学校等、群馬県、千葉県、埼玉県の一部の小学校に配布する。

オ 深海ゾーン・海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

各アイテムの適正な展示機能を確保するため、随時、生物資料を補充し、動作不良等の各種不具合が発生した場合は、その迅速な解消に努める。

カ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして、自然観察会・移動教室等の各種館外活動を行う。

キ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じ、水生生物や飼育設備等をテーマとして、バックヤード見学・館内レクチャー・夜の水族館等の各種館内活動を積極的に行う。

ク 実習生の受入れ

社会教育施設、博物館相当施設としての役割を果たすため、学芸員・飼育実習・職場体験学習・インターンシップ等の受入れ対応と調整を行う。

ケ 生物解説アプリの導入

新たな生物解説アイテムとして、スマートフォンを活用した「かざすA I 図鑑」を館内で利用可能にして来館者のサービスに努める。

コ ボランティア活動支援

生涯学習の一環として実施しているボランティア活動の支援を行う。年間を通して募集・研修を行うとともに毎月1回役員会を開催し、要望の集約、活動課題、研修計画等の検討・整理を進める。6月に総会・研修会、10月に他園館との交流研修会、11月に活動発表会「マンボラフェスタ」を開催する。

(4) 誘客促進事業

広域的な道路網の整備により多方面とのアクセスが良くなり、移動時間の短縮が図られるようになった首都圏からの新たな誘客を図るため、SNSを活用した情報発信を行うとともに、様々なWebサイトへの広告を行う。また、電子チラシを活用した情報発信を行い、誘客促進に繋げていく。Web広告については来館可能性の高い地域や年代の把握に努め、今後の誘客対象選定に生かしていく。

チラシや割引券の配布において、道の駅等の集客施設を積極的に訪問し、割引券の回収先を細かく分析できる手法を執りながら施設等の見直しを進め、個人客の増加も図っていく。団体の誘客として、観光業者への訪問営業を継続していく。

新規事業としては、水族館入場券のWebチケット販売開始やチケットレスを導入するなど、お客様への利便性向上を図る。

夏の特別企画では、人気アニメ「ペンギン」とコラボし、その世界観とともにペンギンの生態紹介や剥製を中心とした展示を展開する。

(催事計画)

催 事 名	期 間
GWイベント2019	4/27～5/6 GW期間（10日間） 延長営業有
七夕イベント ・七夕水槽・連携願い事短冊・館内装飾	6/1～7/7（37日間）
第44回 動物愛護標語コンクール	7/1～31（31日間）
夏期特別企画「ペンギン展」(仮)	7/13～9/1（51日間）

・人気アニメ「ピングー」の世界観と共にペンギンの生態の紹介や剥製を中心とした展示	延長営業有
夜の水族館サマーナイト「延長営業」＜那珂湊花火＞	8/8予定 延長営業有
ハロウィンイベント2019 ・ハロウィン仮装デー・特設水槽他	9/7～10/31（54日間）
年間パスポート所持者限定プレゼント	11/1～11/30（30日間）
アクアワールド総選挙2019	11/2～11/30（29日間）
アクアワールドクリスマス2019 ・館内装飾・特設水槽他	11/23～12/25（33日間）
閑散期対策企画 ・イルミネーション	12/23～2/28（68日間）
年末・年始イベント ・館内装飾・干支水槽他	12/28～1/13（17日間）
第28回企画展 「THE サバイバル」(仮)	1/11～5/6（179日間）
開館18周年 アクアワールド☆感謝祭2020	2/29～4/5（37日間）

(5) 管理運営部門

ア 利用状況及び売上状況等各種データの分析を行うとともに、経営調整会議・販売戦略会議・マーケットプレイス連絡会議を定期的を開催するなど、経営状況を随時把握し安定経営に努める。

イ 事務の効率化を図るとともに、省エネルギー推進委員会を活用して、更なる省エネ化に積極的に取り組むなど経費の節減を図り、常に運営経費の見直しを行いながら、効率的な予算執行に努める。

ウ 県有財産であるアクアワールド・大洗を管理するにあたり、腐食や老朽化による施設設備の修繕に対応し、安全安心かつ清潔さを保つ施設管理を行う。修繕計画に基づき、外壁塗装工事（3年計画1年目）や屋上防水改修、空冷ヒートポンプチラー更新などの大型工事を行う。

エ 職員の資質向上と効率的運営に資するため、各種研修等を行うほか、ストレスチェックや毎月の衛生委員会の開催により、メンタルヘルスケア対策支援の充実を図る。

オ 消防訓練のほか地震や津波を想定した避難訓練や、AED救急救命講習、個人情報保護や、マイナンバーの入力管理の徹底などコンプライアンスを遵守し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る。

また、自然災害発生時に的確に対応するため、タイムライン及び事業継続計画（BCP）を策定する。

カ 繁忙期の駐車場確保対策として、大洗第4埠頭の借り上げ及びシャトルバスの運行に加え、隣接する大洗公園駐車場の弾力的な借上げ運用により、駐車場の確保と周辺道路の渋滞緩和に努める。

4 収益事業2（水族館売店事業）

売店の運営

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のミュージアムショップ、コーヒーショップの運営を行う。

ホームページやマスコミを活用した商品のPRや、館内マップを利用しての商品案内などを行い、売上向上を図る。また、消費税10%への変更及び軽減税率の対応等適正な運用管理に努める。

ア スーベニアショップ「モラモラ」の運営

他館では購入できないアクアワールド・大洗オリジナル商品の開発・販売促進に努める。

さらに、企画展やイベントとタイアップした関連商品の導入販売を推進するとともに、季節毎の店舗内装飾を行い、新鮮な店舗づくりに努め、収入増を図る。

イ ミュージアムショップ「ガレオス」の運営

ミュージアムショップとして、サメを中心とした特色ある商品展開や、専門性のある高品質な商品を揃えることで、モラモラとの店舗の販売構成の差別化を図り、更なる売り上げ増に繋げる。また、季節に合わせたセット販売を実施し、売上の向上に努める。

ウ コーヒーショップ「マーメイドギャラリー」の運営

サメ関連のオリジナル商品の開発販売を進める。また季節感のあるメニューや企画展イベントに合わせたメニューの展開に努める。

プラスチック製ストローの廃止（4月1日から）をはじめ、廃プラスチックによる海洋汚染への対応など環境問題への取り組みを推進する。

5 法人運営

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館を効果的・効率的に運営するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の管理、第4期中期経営計画の進行管理などを行う。